

研修番号 1	
研 修 科 目 名	組織力強化研修
研 修 目 的	行政運営の中核を担う所属長としての自己基盤を確立し、行政環境や行政ニーズの変化に的確に対応するため、所属職員の育成・指導力や組織強化能力の向上を図る。
受 講 対 象 者	市町村の新任所属長（本庁の課長、出先機関の長）、約 100 名
受 講 人 数	約 50 名／1 回
研修希望日時	令和 9 年 8 月 5 日（木）、6 日（金）／9:00～16:30（12:00～13:00 は休憩）
予定実施回数	2 回 （注 1）受講者を 2 グループに分け、同一プログラムを連続日程で 2 回実施する。 なお、受講者数によっては、実施回数が 1 回になる場合もある。 （注 2）2 回実施の場合、富山県と富山県市町村職員研修機構がそれぞれ 1 回ずつ委託する。
研 修 方 法	・対面による集合研修。 ・講義と演習（個人ワークとグループ（2 名以上）ワーク）を組み合わせること。 ・グループワークでは、他者との意見交換からの気づきや学びを得られる工夫をすること。
研 修 内 容	・研修内容として、次の①～⑥をできるだけ多く達成するための具体的手法を習得させ、組織力を強化する内容とすること。（具体的手法を研修の展開概要として提案書に記載すること。） ①部下の仕事へのモチベーションを向上させる。 ②上司と部下のコミュニケーションを向上させる。 ③効果的に部下を指導し育成する。 ④効果的なリーダーシップを発揮する。 ⑤部下との信頼関係を強化又は再構築する。 ⑥組織力やチームワークを強化する。 ・具体的に職場が活性化し又は組織力は強化された事例を紹介するのが望ましい。 ・単なる知識の習得に留まらず、講義と実習（個人ワーク、グループワーク）を組み合わせ、職場において実際に活用できる実践的能力が身につく研修内容とすること。
留 意 事 項	・講師は、類似研修での指導や組織力強化に係るコンサルタント経験又は勤務経験において職場の活性化や組織力の強化に従事した者が望ましい。 ・研修時間内で受講者の理解度を確認し、理解を促進するための方法を講じること。（実施方法を提案書に盛り込むこと。） ・提案する研修内容に独自の特色ある内容（受講者の「気づき」や「腹落ち」を誘発する特記事項）がある場合は、それを明記すること。 ・経費の見積に当たっては、1 回分の経費を見積ること。（2 回実施の場合は同額の講義料に所要経費（追加の宿泊費等）を加算した金額で富山県市町村職員研修機構と契約すること。）

